

# 町内の企業が結束

## — さつま町ものづくり企業振興会設立 —

4月25日、町内の企業19社が結束して、さつま町ものづくり企業振興会が設立されました。

〇 結束した19社は、金属・精密機械・電気電子系製造会社で、町や商工会、町議会と連携して、町内外の企業訪問や情報交換、研修会などを行い町内企業の活性化と産業振興を図ります。併せて、高校進路指導教諭との意見交換会や町内企業への就職のアピールを行い、若者の働く場所の確保を図ります。

〇 来年1月には、町内立地異業種企業との交流会を計画しており、将来的には会員拡大を図り、町内立地企業の活動ネットワークを広げます。

町内には多くの優れた企業が立地しており、地域の活性化には、若者の活力が必要です。今回の振興会発足により、若者が地元企業へ目を向ける機会が多く与えられることとなりました。また、少子高齢化が進む中、若者が地元企業で働くことで、地域に活力が生まれます。これから、ますます雇用の場の確保、定住促進、地域の活性化につながることが期待されることでしょうか。



## 直撃インタビュー



会長 株式会社 井川産業  
代表取締役 井川清隆

— ものづくり企業振興会設立のきっかけは何ですか —

これまで旧町単位では、同業社の連絡協議会がありましたが、合併を機に組織を一本化してはどうかと、行政から話があったことが設立のきっかけです。

今回、行政が音頭をとり、

旧3町の同業社とのつながりが持てたことに対して非常に有り難く思います。

— 今後、振興会を通して、企業間交流が図られるかと思いますが、期待することは何ですか —

まずは、様々な機会をとらえて、企業間の交流を深めていきたいと考えています。

将来的には、お互いの技術や技能を持ち寄って、この町から何か新しい製品をつくり、全国に発信して、地域発展のために貢献できればと考えています。

— 振興会では、高校進路指導教諭との意見交換会も行われるとお聞きしていますが、も

のづくり企業に必要とする人材は、どのような人材ですか

町内には、全国に誇れる優れた技術を持つ企業が多くありますが、この町に、工業系の高校がないので残念に思います。町内に一校だけ高校がありますが、一学級でも工業を専門にするクラスがあればよいのにと考えます。生徒の中には、工業系の高校に進学したいが、町内にはないため外の高校に進学する生徒も多いと聞きます。ものづくりでは、

基礎知識がある方がより有利です。地元でも工業系のクラスを設置して、地元で良い人

材を育てていきたいものです。— 最後に、井川会長にとって、ものづくりとは何ですか —

私の会社では、設立以来会社方針を「基本に忠実」として掲げてきました。ものづくりの原点がこの二文字に見えるからです。

日々多様化、高度化が進んでいく時代の中で、「企業の発展と常に効率的な製品づくりの創造」を企業理念として、「顧客重視」「地域貢献」「社員の質の向上」を目指しています。ものづくりの原点はそこにあると思います。